

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第83号 2016年5月5日

p6
人口減少に歯止めを
予算審査特別委員会Q&A



写真 三和・菊野自治会 中道家
開村百周年を記念して大家族

- p2 町民との多様な意見を交換～議会報告会～
- p9 3月定例会 こんなことが決まりました
- p11 町政を問う。一般質問に4議員が登壇
- p16 所管事務調査報告～農業・農村振興計画について～
- p17 Topic議会
- p18 町民インタビュー聞かせて

町民との多様な意見を交換



多数のご意見ありがとうございました

4月11日～12日に、町民センター・西和地域センター・松岡地域センター及び中和地域センターの4会場で、55名の参加を得て議会報告会を開催しました。

内容は、各委員会から議会活動の報告をさせていただき、その後参加された皆さんからご意見等を伺いました。

議会からはこんな報告をしました

■総務福祉常任委員会

- 高齢者福祉住宅について
- ふるさと納税について

■産業教育常任委員会

- 簡易水道施設整備事業について
- 下水汚泥処理施設(堆肥化)建設事業について

■議会広報委員会

- 紙面の内容やレイアウトについて

■議会運営委員会

- 改選後の議会体制について

意見交換

◇ふるさと納税

Q ふるさと納税をしたいと思う要素は、自分の寄付したお金が何の事業に使われ、どのような結果になったか、それに対し報告があることだと思うが。

A 昨年、行政に対してふるさと納税に関する提言書を提出し、その中でも納税の目的をはっきりするように提言している。

◇防犯灯

Q 外灯の修繕費について、自治会が全額支払うこととなっているが、器具の破損の場合、負担が大きいため、電球交換のみ自治会の負担にしてくれないか。

A 議員の中でもその話が出ています。

近年、自治会も戸数が減ってきており、範囲も広く大変だろうと思う。

行政にも働きかけをしていく。

◇芳生苑

Q 現在、1000床のうち97名が入所しているそうだが、3月末時点で、申し込みして入居待機している方は何名いるのか。

A 26名が待機している。町外の施設に入所して希望している方や、デイサービスや訪問介護を利用して入所を待っている方もいるようである。

(※要介護3以上で待機されている26名の方のうち、町内・町外の方はそれぞれ13名、要介護2以下で待機されている方は43名でした。)

Q 施設で働く方は労働が厳しく、給料も低く、辞める方も多い話を聞くと、職員の補充はできているのか。

A 介護の仕事は非常に厳しく、賃金も安いところから条件の良いところに移っていく方が多いと言われている。

町も本年度から、和寒町に住んで介護の施設に勤める場合は、家賃の半分の助成したり、介護に関する資格を受ける際には助成をする事業を進めている。



▲芳生苑

Q 芳生苑の改善のために、今年度から芳生苑に新しい課を設置して、町職員3名が配属されることになった。

改善したら職員は引き上げるそうだが、議会では何をもって改善したと、認めるのか。

A 問題が起きたことの説明を受けたときに、即時常任委員会を開催し詳細な内容を確認した。

勧告をもらったときにも説明を受けている。高齢者施設支援課が3人体制で設置されたので、これから定期的に確認して判断したいと考えている。

◇一般廃棄物最終埋立処分場

Q 西和にある一般廃棄物最終埋立処分場が近々いっぱいになるという話を聞いたが、どうなっているのか。

A 昨年、常任委員会でも二度ほど現地を見に行った。

シカを埋め立て処分していた時は、5、6年しかもたないだろうと言われていたが、今のところは9年くらいもつことになっている。

今後の対応は、今年から本格的に議論していく。

現在の処分場の反対側に敷地があるため、町としてはそこでの建設も考えたいとの案も話しには聞いている。



▲一般廃棄物最終埋立処分場（西和）

◇観光

Q 昨年、塩狩峠周辺と夫婦岩周辺の用地を購入したが、利用計画はあるのか。

A これから周辺の測量調査など実施し、手がけていく。

塩狩と南丘の観光地点を線につなげていけたら良いが、町からはまだ具体的な構想は出てきていない。

Q そのうち利用するということとで予算化して良かったのか。

どうしても必要なものであるならば、常任委員会にて提案していても良かったのでは。



▲用地を購入した塩狩峠広場

A 議員の中では一般質問も含めて、不透明な部分もあるという中で進めてきた経過がある。

塩狩峠周辺検討委員会も立ち上げられるが、適正だったか疑問も感じている。

我々も予算を通した責任もあるため、所管で勉強して進めていきたい。

◇三笠山大学

Q 今現在、学生が70名ほどいるが、昨年は入学者が2名、頼んでやっと入ってもらった。

今年はまだ1人も入っていない。

60歳以上の多くの方に参加して欲しい。

A 年金支給が65歳になつているため、それまで働かなければならないというのがあると思う。

今後、機会があれば呼びかけていきたい。

◇パークゴルフ場

Q 町民の健康増進のため、パークゴルフ場の新設はしないのか。

A パークゴルフ場については一般質問でも度々出ているが、今の現状を改良していくというのが執行者の考えのようである。

昨年も2枚刃の草刈機を導入したり、砂を入れて水が溜まらないようにしたりして整備している。



▲パークゴルフ場（三笠山）

◇下水汚泥処理施設

Q 汚泥肥料は様々な下水処理場が販売しているが、重金属等の含有による健康への影響が問題になっている。

28年度に建設する下水汚泥処理施設においても販売も視野に入れているような話も出ているが、慎重に進めて欲しい。

A 重金属の問題は新聞紙上等でも出ていたが、実際には国・道で試験を続けている。

本町においても使用したところについては土壌診断しており、重金属等の検出はされていないが、一般への販売はしない方向になっている。

公共施設の芝や花など、食べ物ではないところを使用してはどうかと話をしている。

◇議会運営

Q 議会の傍聴に來たとき、一般質問の資料はあるが、答弁の資料がないため、内容が分からない。

A 以前、要望した経過もあったが、我々も答弁書はもらっていない。

後日、議会広報誌でも答弁内容を掲載している。

さらに詳しい内容は、議事録として図書館で閲覧できる。

※紙面の都合により、内容の簡略化やすべてのご意見が掲載できておりませんのでご容赦願います。

また、多くのご意見をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

議会報告会アンケート（抜粋）

Q 議会だより「ワットサム」紙面の内容やレイアウトなどの感想・意見は？

以前より改善はしているので、よりよい「ワットサム」になることを望みます。

毎年、毎回工夫がされていて楽しみにしている。

レイアウトも考慮され見やすくなった。表紙も町民の家族写真がほのぼのと感じられる。

文字をもう少し大きくしてほしい。

一部カラー印刷にしたので見やすくて良いです。

町民の紹介ページが良い。町の広報紙とは違う紙面を願う。

Q 本町議会議員の定数は現在10名ですが、議員定数についてどう思いますか。

現状でよい	削減すべき	増やすべき	わからない	未回答	合 計
35名	8名	4名	2名	6名	55名

削減すべき数		削 減 理 由
1人削減	1名	・人口減少のため。
2人削減	6名	
未回答	1名	

増やすべき数		増 や す 理 由
1人増	2名	・町民の意見を反映するため、増やすべき。和寒をPRする話題性もあるかと思う。 ・決議の時にハッキリ解りやすい。 ・全体経費は増やさずに。
2人増	1名	
3人増	1名	

Q 町議会に対するご意見・ご要望は？

毎回、全会一致が多い。

また、報告会に参加したいです。とても有意義でした。

住民が相談しやすい、住民にあいさつ、声かけできる議員さんを目指して頑張ってください。

議会報告会のやり方に工夫が必要だと思います。

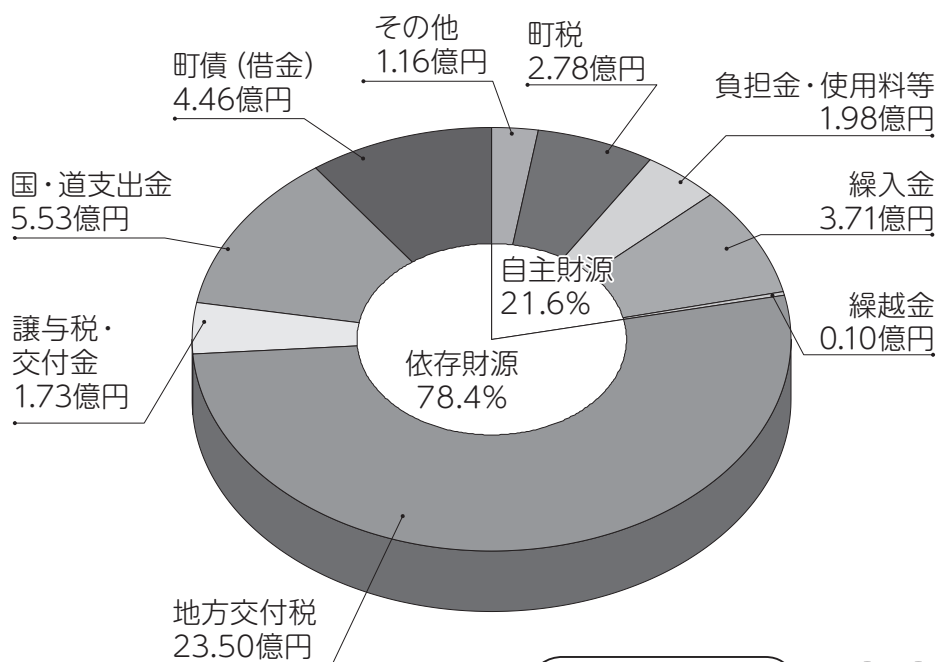
提案型の議会に。

年2回くらいの報告会がよい。



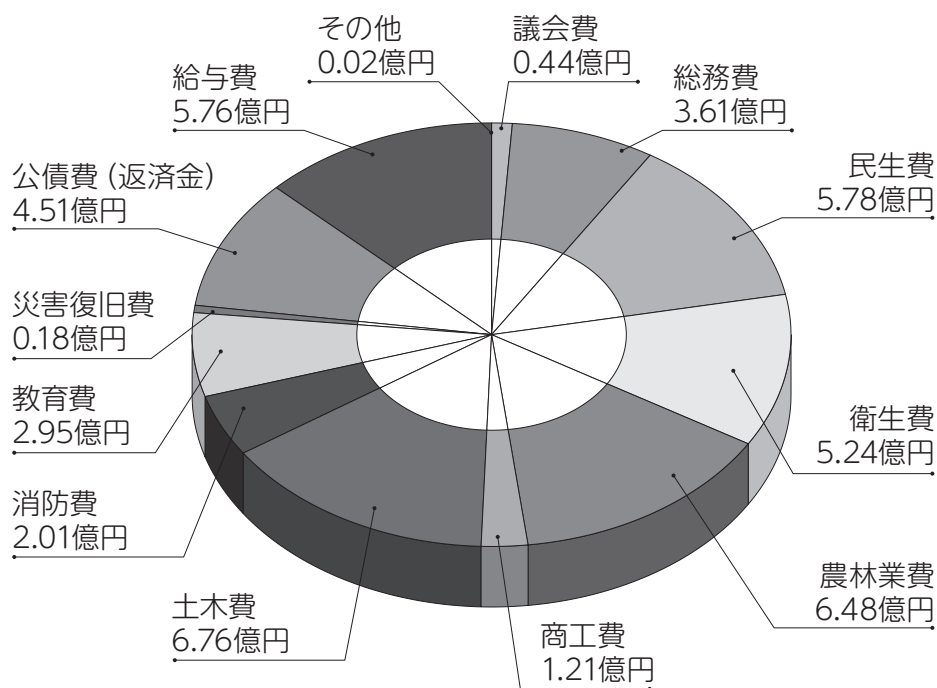
歳入

財 源



使いみち

歳出



平成28年度の一般会計・5特別会計・病院事業会計は、3月15日～18日までの4日間、議員全員で構成する予算審査特別委員会（酒向勤委員長・下條美恵副委員長）で慎重に審議され、理事者及び各課主任以上の職員が出席し、質疑終了後、会計ご

予算審査
Q & A

☆公衆無線LAN

環境整備業務委託

(3782万円)

Q 今後、範囲を広げていく予定はあるのか。また、活用方法は。

A 今後、必要な場所については検討する。

災害時には電話回線が切断された際に通信回線を通じて相互にやりとりができ、観光拠点では、人が多く集まる機会にSNS等で活用して欲しい。

☆和寒ふるさとギフト

(5200万円)

Q 決済方法が電子化され、寄付者が増える予想されるが、ギフトの対応は。

A ふるさとギフトを町民から広く募集してい

平成28年度予算は総額 75億9714万円でスタート

人口減少に歯止めを ～地域創生へ向けて～

一般会計 44億9500万円

町民1人当たりの額は

約 125万5千円

(前年対比9万円増)

※1人当たりの金額は、平成28年3月末現在の人口3,583人で計算しています。

とに討論・採決を行い、いずれも賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

予算審査特別委員会での質疑を抜粋して掲載しておりますのでご覧ください。

るところ。
まずはメニューの種類を増やして対応していく。

☆介護従事者確保 推進事業補助

(120万円)

Q 支給要件に3年以上継続して和寒町に居住し、とあり、途中で転出すると全額返還になってしまうが、不可抗力による場合でもこの要件で適用するののか。

A 町長が特別認めるとき、という文言も記載されているため、勘案の余地はある。

Q 新規就農・開業の補助金は緩和措置があつたが。

A 新規就農・開業補助は以前からある事業で、現場の声を聞き緩和をしてきた。

今後、支障が出てきた場合は、検討を考える。

☆なごやかサロン
支援事業補助
(65万円)

Q サロンを開設したい方々だけで集り、サロンのあり方を話し合うような機会を作っては。

A 色んな意見も聞いてみたいという声もある。相互研修という形でも構わないので、勉強会なりの展開をしていきたいと考えている。

☆禁煙治療費助成
(10万円)

Q 証明書を受け取り、助成を受けた後に喫煙を再開した場合はどうするのか。

A できることならば、禁煙を継続してもらうことがベスト。戻ってしまう方もいるかと思うが、まずは禁煙していただくことを想定している。

☆着地型観光推進
協議会活動補助
(100万円)

Q 参加者の方に大変好評だったとのことだが、今後の展望は。

A 本町には、大きな観光資源がない中で、食資源を活用してお客様を呼び込むところでは非常に有効な事業であると考ええる。今後、組織のメンバー構成についても議論を重ねながら進めていきたい。



▲着地型観光モニターツアーでの越冬キャベツ掘りの様子

☆塩狩峠広場検討
委員会報償
(31万円)

Q 今年は検討して方向性を決めたいとのことだが、いつ頃まで検討するのか。

A 10月頃までには検討委員会としての方向性を決定し、議会にも説明していきたい。

☆木質バイオマス燃料
製造施設指定管理料
(1417万円)

Q 昨年と比較して、予算が30万円弱上がったしているが、その要因は。

A まず、人件費の上昇分。電気料については下がっているが、支障木の撤去や集材の費用が膨らんだため。

☆消防関係

Q 救急救命士は以前から4名という目標があったと思うが、職員で

救急救命士を目指したいという人がいれば受けてもらい、全体のレベルアップを図っては。

A 町としては、救急救命士を増やしていきたい。これから入ってくる職員や希望する職員がいればその環境を整えていきたい。

☆フッ化物洗口事業

Q 正しい方法、正しい量での実施であれば安全なのは分かるが、もしミスにより悪影響を及ぼした場合には町が責任をとるのか。

A 複数の目で確認しながら、責任を持って進めていくが、何か問題が起きた場合は執行者である町が責任をとる。

☆土別市学校給食
センター運営負担金
(2167万円)

は。

Q 今後、食育や高齢者への食事の宅配などの施設設置について考えは。

A 過去にも時間をかけて協議し、土別市に委託する決定をした。土別市にも事情もあるため、配慮しながら検討していく必要がある。

☆下水汚泥処理施設
新築工事
(1億5千万円)

Q 建設するに至った理由は。

A 平成2年頃から下水の汚泥の堆肥化を始め、堆肥化は町内の農業者団体の方にしていたが、今後、事業継続が困難なことから、現在の堆肥場は屋根がなく、汚泥から出る水分の処理について道から指導を受けていることが要因。

重要計画2本を可決

◎過疎計画

◎農業・農村振興計画

3月定例議会のあらまし

3月定例議会(第1回定例会)は、平成28年3月4日から18日にかけて15日間の会期で開催しました。

4日は、町政執行方針・教育行政執行方針が述べられ、条例制定や補正予算などの議案審議をしました。

また、平成28年度各会計予算が上程され、予算審査特別委員会に付託となりました。

14日には一般質問を行い、4人の議員が登壇し、行政に対する質問をしました。

最終日には予算審査特別委員会の審査報告などがされ、3月定例会にかかる議案全て原案通り可決しました。

なお、今定例会の傍聴者は延5人でした。

条例など

【過疎地域自立促進市町村計画の策定について】

(全員賛成可決)

少子高齢化・過疎化に対応するまちづくりのために、過疎対策事業債を有効的に活用し、各種施策を実施するため、平成28年度から32年度までの5カ年計画を策定しました。

【第4次和寒町農業・農村振興計画の策定】

(全員賛成可決)

さまざまな情勢や課題に対応し、これまで以上に持続的に発展する農業・農村づくりをめざす

ために、農業・農村振興計画を策定しました。

【省スペース型賃貸住宅建設促進条例の制定】

(全員賛成可決)

町内に住所を有する個人、または法人が町内施行業者により賃貸住宅を建設する場合、補助対象住宅建設費の2分の1以内を補助する条例を可決しました。

【財産の取得について】

(全員賛成可決)

夫婦岩周辺の観光振興を図るため、土地を購入するものとし、これを可決しました。

【地域資源活用交流施設設置条例の一部改正】

(全員賛成可決)

ふれあいのもりを28年度から指定管理にすることに伴い、使用料の収受を指定管理者が行えるようにするもの。

【奨学資金貸付条例の一部改正について】

(7名賛成可決)

文言の整理と、奨学資金貸付期間が終了してから本町に住所を有する者(ただし、町内の事業所に常勤の医師として就労する場合は町内に住所を有さなくても良い)は、貸付金の全部または一部の返還を減免することが

できる改正を可決しました。

【固定資産評価審査委員会条例の全部改正について】

(全員賛成可決)

行政不服審査法の全部改正に伴い、関連する文言の整理をするもの。

※ 過疎対策事業債って？

過疎地域自立促進特別措置法に基づき、市町村が策定した過疎計画により、公共施設等を整備する際に国からの補填を受けることのできる、市町村にとって有利な債務(借金)です。

平成27年度各会計補正予算一覧表

(※ 1万円未満切捨て表記)

会 計 別		補 正 額	補正後の額
一 般 会 計		△7109万円	42億9723万円
特 別 会 計	国民健康保険	71万円	7億2049万円
	簡易水道事業	△217万円	1億463万円
	公共下水道事業	△1273万円	2億1696万円
	後期高齢者医療	△17万円	6082万円
	介護保険（保険事業勘定）	△1500万円	5億6574万円
	介護保険（サービス事業勘定）	△342万円	7016万円
町立病院事業会計		収入	△554万円 5億2744万円
		支出	△632万円 5億4310万円

補正予算

各会計の主な増減は別表のとおりで、各会計とも事業費の確定などによる執行残の減額などが行われました。
一般会計では、まち・ひと・しごと創生法による地方創生加速化交付金事業を増額していますが、次年度へ繰り越して執行することになります。

各会計の主な補正内容

(※ 1万円未満切捨て表記)

一 般 会 計		国民健康保険特別会計	
●公衆無線LAN環境整備事業	150万円	○療養給付費	△950万円
○情報セキュリティ強化対策事業委託	2330万円	○高額療養費	500万円
○ふるさとまちづくり応援基金積立金	130万円	簡易水道事業特別会計	
○省エネルギー促進支援事業補助	△100万円	○東丘浄水場実施設計業務委託	△95万円
○後期高齢者療養給付費負担金	△1143万円	公共下水道事業特別会計	
○臨時福祉給付金	△61万円	○下水汚泥処理施設建設実施設計業務委託	△413万円
○わっさむ健やかこども医療費	100万円	○下水終末処理場改修工事	△804万円
○合併浄化槽設置促進事業補助	△130万円	後期高齢者医療特別会計	
○担い手確保・経営強化支援事業	1244万円	○一般会計繰出金	54万円
○造林事業委託	△262万円	介護保険特別会計保険事業勘定	
●特産品開発研究調査委託 他	△761万円	○居宅介護サービス給付費	△1500万円
○7号道路改良工事	△3817万円	介護保険特別会計介護サービス事業勘定	
○東山スキー場リフト改修工事	△63万円	○健康苑外壁等改修工事	△183万円
注）●：地方創生加速化交付金を充当		国民健康保険町立和寒病院事業会計	
		○予防接種ワクチン、酸素	470万円

その他議案の審議結果

件 名	審議結果
行政不服審査法の全部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	全員賛成可決
行政不服審査会条例の制定	全員賛成可決
行政手続条例の制定	全員賛成可決
情報公開条例の全部改正	全員賛成可決
職員の給与に関する条例の一部改正	全員賛成可決
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	全員賛成可決
人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正	全員賛成可決

町政を 問う。

一般質問

和寒町では1人につき60分の制限時間が設けられ、質問の回数は無制限で行われます。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関（町長・教育長）に疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。

質問議員	質 問 事 項	ページ数
中原 浩一 議員	①新年度の戦略的政策予算は ②フッ化物洗口の安全性は	12ページ
石田 利美 議員	①防犯カメラシステムを設置しては ②ゴミのポイ捨て禁止条例を制定しては	13ページ
窪田 裕二 議員	①中学校跡地の今後の利用活用は ②28年度執行方針は	14ページ
伊藤 明 議員	①道路網整備について、日ノ出川に橋梁を ②旧学校施設の整備等は	15ページ



中原浩一議員

問 新年度の戦略的政策予算は 答 様々な角度から総合的に取り組む

問 フッ化物洗口の安全性は 答 万全な体制で進めていく

戦略的政策予算は

奥山町長

省スベール型賃貸住宅建設促進事業・介護従事者の資格取得や家賃の助成制度・和寒で生活する場合に奨学金の返還を免除する制度を設け、これついで健診や不妊治療費の助成を行っている。

このほか、交流人口の増加に向けた施策として、塩狩温泉跡地・周辺地域の活用に関して検討を進め、多くの方々に本町を訪れていただける準備を進めていく。

○再質問

その予算による効果は。

また、塩狩周辺地域での活用などが、人口増に繋がるのか。

奥山町長

少子高齢化に対応し、人口減少に歯止めをかけるためには、様々な角度から総合的に取り組む必要があると考えている。

○再質問

補助減免など支援拡大の予算が高んでおり、一概には言えないが一般会計予算に関しては、5年前から比べて約24%増え、特にここ2年が特に予算が多い。

支出に見合った収入をどう考えているのか。

広富副町長

和寒町は、かなりのウエイトで交付税に頼っている現状があり、補助金や交付金などで町民のサービスを向上させつつ、収入をどう賄っていくかということになる。

基金等が増えているという状況だが、これ

は起債の残高と合わせて勘案しなければならぬと思う。

○再質問

和寒町は高齢化が進んでいることから、町民にとって大切な福祉関連の病院会計・国民健康保険などの一般繰入れや介護事業など町の負担が多くなっている。

また、地方交付税については28年度の国の予算も前年度対比で5%程度削られていることも勘案すると、今後に向けて町政を進める上で福祉事業、子育て支援、産業対策の成果をどう考えていくのか。

奥山町長

指摘のあった病院・介護・国保などの福祉は、必要な制度をどうやって持続可能な形で維持していくというのは大切な問題だと受け

止めている。

今後の高齢化や医療の動向なども踏まえながら進めていく必要がある。

フッ化物洗口の安全性と、保護者への説明会の内容と反応は

沓澤教育長

定められた基準通りに実施されれば、安全性には問題はなく、小学校で実施のフッ化物濃度では7人分を一度に飲み込まなければ中毒症状が出ないことなどが、上川保健所から説明があった。

フッ化物洗口の効果や安全性、メリットとデメリットについても説明をし、保護者からの質疑ではフッ素塗布との併用での影響や、インターネットではフッ素は危ないなど目にするので、安心して子どもたちにやらせてあ

げられる説得力のある説明が求められた。

○再質問

実際にフッ化物で副作用があるという事例もあるが、正しい方法で正しい量をきちんと使えば安全と言う説明だが、100%安全と言うことは無いと思っているが。

沓澤教育長

健康な歯を願う保護者等の期待もあると考えていることから、町・教育委員会としては、実施までの準備をしっかりと行い、実際に行う保育所、小学校の職員に対しても正しい管理のもと実施できるよう進め、試行を行ってから実施に取り組むこととし、万全な体制で進めていく。



石田利美議員



問 防犯カメラシステムを設置しては
答 関係機関と連携し防犯活動に取り組んでいく

問 ゴミのポイ捨て禁止条例を制定しては
答 具体的な取り組みを検討する

防犯カメラを設置しては

町内では、金融機関、コンビニ、役場などで防犯カメラが設置され、運用されている。

犯罪の予防を目的として、保育所・小中学校・かたくり荘・町道などに防犯カメラシステムを設置しては。

奥山町長

町民センターや総合体育館アリーナに設置されており、不特定多数の方々が利用する場所での防犯対策のほか、町民センターや総合体育館アリーナのよ

うに、離れた場所から利用状況などの確認をすることが目的である。行政機関における防犯カメラの設置については、プライバシー権の侵害など、様々な議論がされている状況にあり、町としては、情



▲町民センターに設置されているカメラ

報の収集に努め、今後も町民が安心して暮らすことができるよう、関係機関と連携を密にして防犯活動に取り組んでいく。

沓澤教育長

教育委員会として学校教育の中で、児童生徒に危機回避能力の育成を指導することが第一であり、防犯カメラシステムの設置については、町の動向を見極め対応していく。

ゴミのポイ捨て条例を制定しては

和寒町をきれいにするために、ゴミのポイ捨て禁止運動やピール、ポスターなどで

町民の意識を高め、美しいまちづくりを推進するために、ゴミのポイ捨て禁止条例を制定しては。

奥山町長

今後、少子高齢化や人口減少対策として、移住・定住促進や交流人口の増加を図っていくうえで、町内がさらにきれいになることは大変好ましいことから、小規模な自治体がゴミのポイ捨て禁止条例を制定した場合の課題を整理し、条例を含め具体的な取り組みを検討していく。

整備事業計画を推進しては

大通り商店は人口減少・後継者不足などで空き家・さら地が増えてきている。

中心市街地の商店・住宅・空き家・さら地における、整備計画の考えは。

奥山町長

和寒町では、平成10年から15年にかけて街路灯の整備や歩道のバリアフリー化などに取り組み、平成14年から18年までは、和寒町商業振興店舗近代化事業により、店舗の新築や改修などに支援してきたが、消費構造の変化や後継者不足などにより、商店の減少が続いている。商工会が、28年度に道から補助を受けて商店街の空き店舗や空き地に係わる意向調査を実施する予定である。

町として、商工会と連携を図り進めていきたい。

○再質問

和寒町土地開発公社を使い、用地を買い上げし、解体し分譲しては。

奥山町長

買い上げて動かしたらどうかという提言は、しつかり受け止めたい。



▲大通り商店街

問 中学校跡地の今後の利用活用は 答 当面は、学校資料収蔵場所

問 28年度執行方針は 答 教育の観点も大切に考えて行く



窪田裕二議員

中学校跡地利用は

平成22年和寒高校閉校後、平成23年には中学校が移動された経緯がある。

その後、第2体育館は燃料製造施設となっており校舎は現状のまゝになっている。

現在、中学校跡地利用検討委員会が設置され、2月に開催された委員会で学校資料の一時保管場所になると聞いている。

今後、維持管理・活用を含めた中で、どのような考えか。

沓澤教育長

平成22年6月に第1回の検討委員会が開催、計6回開催されている。

その間、ホームページで跡地活用の掲載や廃校プロジェクト一覧を活用した周知を行ってきた。

検討委員会でも福祉・宿泊・加工施設など、活用意見が出されたが、多額の費用が必要なため現状では難しいと判断。

グラウンドにおいては、平成24年度から水戸農園の誘致を行ったが、昨年7月に撤退。

現在は学校資料の収蔵場所として考えおり、今後ホームページなどでピーアールに努める。

○再質問

現在、ものづくりの方が何人か移住されており、技術者に施設を提供しながら、ものづくりとしての施設として誘致してはどうか。

広富副町長

現在使われていない施設を活用していただけるのは大変望ましいことであり、ご意見や要望があれば町として検討する。



▲旧和寒中学校校舎

平成28年度執行方針について

本年度、「第5次総合計画後期推進計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定された。

特に奥山町長3年目になり、和寒町としても少子高齢化に向けた政策は急務と考える。

28年度の町政執行方針を見る中で一歩踏み出した政策が見受けられないと感じるが、町長の考えは。

奥山町長

本町において、65歳以上の高齢化率が43.

1%となっている反面、14歳以下が全体の9.9%。また昨年4月から2月まで誕生したお子さんは17人となっており、少子高齢化対策は急務であると認識している。

そのため、医療費無料化・予防接種費助成・保育料、給食費軽減・28年度から、不妊治療費助成も実施し、子どもを産み育てやすい環境整備を進めている。

○再質問

一つの目玉として、教育という観点をもう一度しっかりと出してみてはどうか。

本町を見ても、小中学校学力は一部全国平均値より低い現状もあり、全体の底上げは必要と考えるが、どのような考えか。

沓澤教育長

現在、学力向上に向けて、ステップアップ

教室・ジュニアイングリッシュ講座に取り組んでいる。

また、教育行政執行方針の中でも、基礎学力向上に向け、キャリア教育も一生懸命進めていく考えである。

○再質問

昨年、雇用促進補助の質問をしたが、美深町で同じ様な政策を行っている。

月額15万円を2年間支給する内容で新規雇用が16名に繋がった。

既存の助成金を成果の上がるような政策に見直すことも必要と考えるが。

奥山町長

現在の制度で、有益な制度として使われているか検証し、その上でどういったものが入り口減少の歯止めになるのか、町内業者としてプラスになるのか、検討する。

伊藤
明議員



問 道路網整備について、日ノ出川に橋梁を 答 農想塾の機能を維持したい

問 旧学校施設の整備等は 答 地域住民等と協議して対応する

農想塾ともみじ団地をつなぐ橋梁の新設を

農想塾ともみじ団地の間には日ノ出川があり、公民館やプールへの近道として有効であり、住民要望も高いが今後の実現性は。

奥山町長

農想塾には試験ほ場があり、多様な作物の試験栽培を行なっている。

橋を整備した場合、不特定多数の方々が往來することとなり、試験ほ場に病原菌が持ち込まれる恐れや、ほ場が分断され作業効率に支障をきたすこと、また作業機械と通行者による事故の発生も危惧されることから、農想塾の役割を果たしていくためには通路設置は困難であることをご理解願いたい。

○再質問

小学校への通学路としての活用や、公民館駐車場は緊急ヘリポートの役割もあり、重要な道路となると思うが。

奥山町長

なぜ通れないのだろう、と考えるのが自然であると思うが、農想塾建設の頃にも論議されたことを受けている。ヘリポートへの近道や通学路としての考え方もあるが、現状では農想塾の機能維持に理解を。

○要望意見

小学校から中学校までは文教施設エリアとして位置付けされていると認識している。

農業施設についてはライスセンター周辺への集約も考慮して、住み易い寒町を後世に残していくなくてはならない。

旧西和小学校・旧中和小学校の維持管理は

両校の校舎の老朽化が進む中で、検討委員也会も解散され、早急に対策が必要であると考えるが。

沓澤教育長

旧西和小学校は、第二資料館と学校の資料の貯蔵場所としている。

郷土資料等を旧中学校の空き教室を貯蔵場所として利用したい。

校舎側施設は、昨年の町政懇談会で老朽化が進み、取り壊しを望む意見が出ており、雨漏りなどが進行しているのを確認している。

また、旧中和小学校は、特に西側の教室の床の損傷が激しい状況。

旧図書室にある学校資料については、自治会と同窓会にも相談を

しており、28年度中には整理をする予定。

以上の状況から旧西和小学校については資料の移動が完了した時点で、旧中和小学校は貸している方と話し合いを進め、取り壊しの方向で考えたい。

いずれの場合も自治会や関係者とも協議しながら進めたい。



▲旧中和小学校

「学ぶ力を育む推進事業」の今後は

基礎学力の定着と向上を目指して「ステツプアップ教室」を継続するとあったが、現状

と課題は。

沓澤教育長

実施状況としては、児童の希望を取り、73名が登録スタートした。

毎週木曜日の6時間目に、教育アドバイザー他1名で、指導にあたり、復習を主にプリント学習で、31回、平均52名の参加。

成果としては、競争心、集中力が増し、基礎学力が形成されており、計画性も徐々に育成できたなど。

今年度の成果や課題を踏まえて周知し募集をしていく。

○要望意見

バスを利用する児童もいるため、30分程度の学習時間しかなく、父兄から心配する声がある。

開催時間をゆつたり設けるなど、工夫して進めてほしい。

産業教育 農業・農村振興計画について

調査の経過

従来から農業を基幹産業と位置付け、農業者や関係機関・団体の協力のもと、本町農業の基本的振興方針を定めている「和寒町農業・農村振興計画」は、平成7年から5年毎に見直しを行い、第1次・第2次計画が策定されてきたが、平成15年度から16年度まで合併協議での議論もあり「第3次和寒町農業・農村振興計画」においては、平成22年度当初から所管事務調査事項として議論を重ね、当年12月定例会で議決を経て、平成23年4月から施行され5年が経過する。

和寒町議会基本条例において「和寒町農業・農村振興計画」は、町政に係る重要な計画であることから議会の議決事項として定めており、平成27

年6月開催の第2回町議会定例会において、本委員会の所管事務調査事項とした。

委員会では、所管課から農業者アンケートの結果報告、計画案の説明を受け、本町農業の現状と課題について委員との議論を行い、調査を終えた。

調査のまとめ

平成22年3月に策定された「食料・農業・農村基本計画」において「戸別所得補償制度の導入」や「6次産業化の推進」など取り組まれたが、平成24年12月の政権交代により「農林水産業・地域の活力創造プラン」が策定され、「農地中間管理機構の創設」などの4つの改革のもと、農業政策の見直しが進められてきた。

そのプランの方向性を

踏まえ、平成27年3月に新たな「食料・農業・農村基本計画」が策定され、「強い農業」と「美しく活力ある農村」の実現に向けて取り組みを進めている。

このような中、消費の落ち込みによる米価低迷をはじめ、様々な課題を抱え、加えてTPPの大幅合意やEPA・FTA締結による輸入農畜産物の増加もあり、めまぐるしく変わる農業政策や産地間競争など、農業・農村を取り巻く情勢は極めて厳しいものとなっている。

第4次和寒町農業・農村振興計画は、前計画の点検・見直しや農業者アンケート調査を踏まえて本町の現状と課題を分析し、「農産物の生産拡大」、「次世代農業者の育成」、「農村環境の魅力拡大」、「農産物の消費拡大」の4つの基本目標と6つの基本方針を掲げている。

当委員会ではその内容の確認と具体的な振興方策の取組みについて協議を重ね、修正や必要な事業項目の確認をしてきたところである。

めまぐるしく変革する国内外の農業情勢の中、今年度見直される「第5次和寒町総合計画後期推進計画(平成28年度～平成32年度)」と整合を図り、本町農業の振興に向け、農業者はもとより地域住民、関係団体、行政が一体となつて、元氣な和寒町農業を目指し、総合的かつ計画的な施策を着実に推進するための指針となることを期待する。

また、本計画書に示された各振興策の効果検証を行い、国の農業政策見直しに伴う所要の計画変更ができる農業・農村振興計画であることを要望し、委員会の調査報告とする。

議会を傍聴しませんか？

次回の
定例会は 6月の予定です。

議会はどなたでも傍聴ができます。
みなさんのお越しをお待ちしております。

詳しくは議会事務局へ TEL32-2436



Topic議会

3町議員研修会

2月8日に幌加内町で開催された標記研修会に参加してきました。

北海道総合政策部地域主権・行政局市町村課、自治体連携担当課長の西田潤氏より、「自治体連携」と題した講演を受けました。



▲3町議員研修会の様子

各常任委員会
先進地合同視察

総務福祉常任委員会及び産業教育常任委員会が、先進地合同視察が、2月25～26日に大空町・遠軽町で行われました。
視察先では、高齢者福祉施設の運営状況や現地視察、町営住宅の建設・建替え計画などの項目で視察が行われました。



▲大空町の生活支援ハウス

平成27年度各会計補正予算一覧表

(※1万円未満切捨て表記)

会計別		補正額	補正後の額
一般会計		△1480万円	43億6833万円
特別会計	国民健康保険	△32万円	7億1978万円
	簡易水道事業	5千円	1億681万円
	公共下水道事業	△23万円	2億2970万円
	介護保険（保険事業勘定）	△33万円	5億8074万円
	介護保険（サービス事業勘定）	△5万円	7359万円
町立病院事業会計		収入	△389万円
		支出	△389万円

1月29日開催
第1回町議会
臨時議会

補正予算

左表のとおり、各会計補正予算を可決しました。

条例など

【公の施設の指定管理者の指定について】

（全員賛成可決）

三笠山自然公園、各体育施設、ふれあいのもり、木質バイオマス燃料製造施設などの施設の指定管理者の指定を行いました。

【議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正】

（全員賛成可決）

【特別職職員の給与に関する条例の一部改正】

（全員賛成可決）

【職員の給与に関する条例の一部改正】

（全員賛成可決）

人事院勧告に伴い、手当等引き上げに関する改正を可決しました。

【財産の取得について】

（全員賛成可決）

小型バス（29人乗り）1台を購入するものとし、これを可決しました。

3月25日開催
第2回町議会
臨時議会

【課設置条例の一部改正】

（全員賛成可決）

新たに「高齢者施設支援課」を設置する改正を可決しました。



▲読み聞かせボランティア「ポコ・ア・ポコ」の代表
加藤尚子さんと会員の皆さまにお話を伺いました。

『ボランティア募集中』

町民インタビュー 聞かせて



「ポコ・ア・ポコ」の
意味は？

音楽の速度標語に添える言葉で「少しずつ」「ゆっくりゆっくり」という意味です。

活動のきっかけは？

前任者の方々が、若い方にバトンを渡したいとのことから、図書館の職員に声を掛けていただき、始めました。

現在は何人で活動を？

7人です。

読み聞かせに興味のある方、まだまだボランティアを募集しています。

活動していく上で大変

なことは？

会員の都合を合わせる
ことが大変です。

準備するのも時間がかかる
ので…。

活動の経費は？

図書館からいただき、
その中でやりくりして
います。

今後の活動は？

今まで、毎月第3土曜
日と決めていたのです
が、町の行事が重なるこ
とがあり、なかなか子ど

もたちに集まってもらえ
ません。

今年からは、イベント
的にやった方が集まって
もらえるかなあと思い、
不定期にやっていこうと
思っています。

町に一言

図書館は本来静かにし
なければならぬ所だと
は思いますが、時間帯を
決めるなどして、子ども
が遊べる場として、自由
に開放してほしいです。

広報委員の一言

平成28年度も始まり、大通りでは学校帰りに児童館へ歩いて行く子供たちの元気で闊達な声が響いています。

安倍政権は地方創生を地方に任せました。

和寒町も少子高齢化などで厳しい状況ですが、三無い主義「予算がない、前例がない、ほかでやっていない」を逆手にとって和寒町を創生していこうと思っています。

天塩の国の始まりの塩狩峠は和寒固有の予算のいらぬ財産です。

天塩川流域の市町村も、観光の入り口としての塩狩峠に期待をしているようです。

さて、新入児童にまけないように交通安全に気を付けながら新年度も闊達にいきましょう。

(勤)